

## 事後評価調書

I 事業概要						
事業名	交通安全施設等整備事業（交差点改良工事）					
地区名	一般国道 473号					
事業箇所	岡崎市大幡町地内					
事業のあらまし	本路線は、蒲郡市を起点とし、三河部、静岡県遠州北部の山間部を縫うように走ったのち、牧之原大地を縦断して駿河湾に至る道路である。事業箇所は、付近に岡崎東部工業団地及び牧平工業団地があり、交通量の多い状況である。当該交差点には信号機が無く、右折車両による交通渋滞から追突、接触等の事故が多発しており、こうした事故が歩行者等へ与える危険性が指摘されており、このため早急に信号機、右折帯の設置を行い、安全な交通の確保を目指すものである。					
事業目標	<b>【達成（主要）目標】</b> ① 交通死傷事故の削減 ② 交通円滑化・渋滞軽減 <b>【副次目標】</b> なし					
事業費	事業費		内訳			
	1.48億円		□工事費 1.21億円、□用補費 0.23億円、□その他 0.04億円			
事業期間	採択年度	平成19年度	着工年度	平成19年度	完成年度	平成21年度
事業内容	交差点改良工事 延長 L=240m L型擁壁工L=213m、重力式擁壁工L=142m、防護柵工L=302m、転落防止柵工L=229m、排水工L=383m、舗装工N=1式、区画線設置工N=1式					
II 評価						
①事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> ①右折帯が設置され、追突事故・接触事故が減少した。また、防護柵等の設置により歩道と車道が分離され安全が確保された。 ②右折帯設置により交差点部の車両の滞留が無くなり渋滞が解消された。 <b>【達成状況に対する評価】</b> ①事業実施前（H15～H19）と事業実施後（H22～H24）の交通事故の発生状況を比較すると、「年平均死傷事故件数」は、2.6件から0.3件へと88%減少した。また、交通量を加味して交通事故の発生割合をしめす「死傷事故率」は、139.0件/億台キロから62.4件/億台キロへと55%削減することができた。事業実施後の事故1件は運転手の不注意（信号無視）による出会い頭事故である。 このことから、交通死傷事故の削減について当初の目的を達成していると考ええる。 ②事業実施前は、信号のない交差点であり、右折車により後続車が追い抜けず、渋滞の原因にもなっており、この現象は朝・夕のピーク時に集中していた。事業実施により、右折帯設置及び信号制御により、右折車が原因により渋滞は解消され、交通円滑化・渋滞軽減について当初の目的を達成していると考ええる。				
	2) 副次目標の達成状況	<b>【達成状況】</b> — <b>【達成状況に対する評価】</b>				
III 対応方針						
今後の事後評価の必要性	・初期の事業目的を達成し、事故件数が削減しており、渋滞が解消され、安心・安全な交差点が整備されていることから改善の措置は必要ないと考ええる。					

改善措置の必要性	上記のとおり、初期の事業目的を達成しているため、改善の措置は必要ないとする。
同種事業に反映すべき事項	事故件数は減少しているものの、事業実施後も1件（H22-24）の事故が発生している。当該交差点は改良とともに、信号制御されており、運転手の前方不注意により事故が発生したと考えられる。今後経過観察し、同様の事故が多発するようであれば、事故要因の分析をし、対策を取る必要があると考える。